

第1回プロジェクトの経済学 hidano ©

イントロダクション

経済学は人々の幸福の増大を目指す学問です。その意味で、私たちのおこなう、行動、行為、プロジェクト、政策が 経済学的に妥当かどうかを判断することはきわめて大切です。

本講義で 皆さんは プロジェクトや政策（特に、公的なたとえば環境問題にかかわるもの）の評価理論、具体的な分析手法を学習します。

以下の質問に回答できますか？

- 1) 東京オリンピックの経済効果は。。。兆円といわれるけど、本当か？
どうやって計算するのか？
- 2) お金でプロジェクトの効果を計るというのは可能か？
お金で買えないものがあるのではないか？
- 3) プロジェクトに価値があるというのはどうゆうことなのか？
どうやって計算するのか？
- 4) 木の価値はだせるのかな？
- 5) 複数のプロジェクトがあるとき、どれを実施すればよいのか？
どうやって決めるか？
- 6) 民間企業や個人のプロジェクトの評価はどうするのか？

目標は経済のミクロマクロ理論と計量分析手法を自分のものにすることです。つまり定式化と計算ができるようになることです。真剣に勉強しないと追いつけません。

記号一覧

人(家計 h: household)	企業 (f: firm)	k
地域 region		r, s
時間 time		t, t, T
財、サービス、産業部門 good, service, industry		i, j
消費 consumption		c
合成財 一般財		x
土地、住宅のサービス land, housing service		h
公共財、地方公共財 public good, local public good		z
生産額 production		X
労働力 labor		L
土地面積 total land area		H
人口 population		N
所得 income		y

利潤	profit	Π
価格	price	p, q
効用	utility	u, v (v は間接効用関数のこともある)
賃金	wage	w
財の生産関数	production function	$X = X(\bullet), f(\bullet)$
支出関数	expenditure function	E
付値関数、指値関数（オファー関数）		ϕ, o
財産所得	endowment	s
利子率	interest rate	R
割引率	discount rate	ρ
レント	借りるための使用料	r
物価水準		π
貨幣		m, M (名目)
投資		I (単位行列として使われることもある)
流動性	liquidity	l
資本	capital	k, K
投入係数	投入係数行列	a_{ij}, A ($=X_{ij}/X_j$)
付加価値	value added	VA, FD
	最終需要	
付加価値率		v_j, v ($=VA/X$)
ハミルトニアン		H
ラグランジュ		L
ラグランジュ乗数		λ

参考図書

常木 淳 公共経済学 第2版 新世社 1, 2, 3, 5 章
 奥野正寛 ミクロ経済学 東大出版会
 西村和雄 ミクロ経済学 第2版 岩波書店
 西村和雄 ミクロ経済学 東洋経済新報社
 小野 善康 金融 第2版 岩波書店、
 肥田野登 環境と行政の経済評価、環境と社会資本の経済評価、勁草書房
 入門 社会工学、日本評論社
 栗山浩一 環境の価値と評価手法、北海道大学図書刊行会

成績評価 中間 50パーセント
 期末 50パーセント
 オフィスアワー 講義後 30分間